



京都大学大学院情報学研究科 2022年度公開講座



参加
無料

こんな ところに 情報学！

令和4年 (2022年) **8.11** (木・祝)

13:00-16:30 (12:00 開場)

対象：高校生・中学生・および一般

情報はネットの上だけにあってもいいわけではなく、皆さんのくらしや環境をよりよくするために、いろんなところで情報は生まれ、活用されています。今年の公開講座では、よりよい医療のために、より効果的な防災のために、希少生物の保全のために、公共空間でロボットが活躍するために、など、人と社会の間でどのように情報が生まれ、活用されるかについてわかりやすくお話しします。

講演は**オンライン**と**オンサイト**の両方で行います

オンサイト 定員：先着160名

場所：京都大学 総合研究8号館3階NSホール

オンライン

Zoom ウェビナー (URLは、お申し込みいただいた方に連絡いたします)



申し込み方法

申込を含む本講座の詳細は下記URLか
QRコード先をご覧ください

(申込もリンク先から行ってください)

URL: <http://www.i.kyoto-u.ac.jp/koukaikouza/2022/>



プログラム・講演内容

開会あいさつ 13:00-13:10

京都大学大学院情報学研究科長 河原 達也

医療に役立つ情報学

13:10-13:50

京都大学大学院情報学研究科・医学研究科 教授 黒田 知宏

スマートウォッチなどのウェアラブルデバイスやAIが、どんな風に私達の命を守ってくれるようになるのでしょうか？ 情報学が医療をどんな風に変えてきてこれからどんな風に変えようとしているのかを紹介します。

情報学で変わる防災

14:00-14:40

京都大学大学院情報学研究科・防災研究所 准教授 廣井 慧

防災研究の世界にもAIをはじめとする先端の情報技術が取り入れられつつあります。情報学と防災の関係について、最新の研究動向をご紹介します、情報学がどのように私たちの社会を変えていくのか解説します。

希少生物の保全に役立つ情報学

14:50-15:30

京都大学東南アジア地域研究研究所 准教授 木村 里子

AIをはじめとした情報技術は、絶滅危惧種の保全や生物多様性の評価などにも大きく貢献しています。本講演では、生物学・環境学分野で情報技術がどのように役に立っているのか、をご紹介します。

公共の場で活躍するソーシャルロボットを目指して

15:40-16:20

京都大学大学院情報学研究科 准教授 ブルシュッチ ドラジェン

近い将来、ロボットは私たちの日常環境の中で様々な仕事をこなし、私たちと対話できるようになるでしょう。そのようなロボットのいる社会を実現するために、ロボットにどんな機能や知識が必要なのかについて紹介します。

閉会あいさつ 16:20-16:30

京都大学大学院情報学研究科 教授 大手 信人

お問合せ先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学 情報学研究科 公開講座事務局

E-mail: koukaikouza2022@i.kyoto-u.ac.jp

京都大学 情報学研究科 公開講座

検索